

小倉記念病院 循環器内科日より

つなぐ

Vol.60

2023.1月

2022年10月、僧帽弁閉鎖不全症へのカテーテル治療「Mitracclip」が300症例を迎えた。

僧帽弁の膜を左心室側から引つ張っている腱索が伸びたり切れたり、あるいは僧帽弁の枠が拡大したりすることで、うまく弁が閉じずに合わさりが悪くなることで血液が左心室から左心房に逆流するようになるのが僧帽弁閉鎖不全症だ。

Mitracclipはカテーテルを用いて足の動脈から直接心臓に到達し、「クリップ」で弁をつかんで引き合わせることで、より逆流量を減らす治療だ。以前は重症な僧帽弁閉鎖不全症の患者さんには有効な治療方法が他になく、心不全の進行を食い止めることが難しかった。

第二症例を迎えたのが2018年4月3日。それから今日までの300症例はハートチーム内のオペレーター・エコー医・麻酔科医・看護師・放射線技師・臨床工学技士など多職種の間がりをより一層深めた。1つひとつの症例がチームを成長させ、そしてこれからも高みを目指していく。



第69回

小倉循環器内科セミナー

2023年 1月17日(火) 18:00~18:30



日米欧の心不全ガイドライン揃い踏み 最新のベストプラクティスを探る

座長 小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講師 小倉記念病院 循環器内科 部長 磯谷 彰宏

参加方法



ZOOMによる
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

